

# 島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	島根県立中央病院における胆道感染症の起因菌と抗菌薬選択についての研究
意義・目的	現在の当院における胆道感染症の起因菌を同定し、抗菌薬選択とその投与期間の現状を明らかにして、抗菌薬選択や投与期間が適正であるか検証を行います。その上で、抗菌薬適正使用の提言を行います。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日）2025年11月6日～2027年3月31日
対象患者	2024年4月1日～2025年3月31日までの期間に当院にて、胆道感染症で入院加療を必要とした患者さん。
研究内容	「利用する試料・情報の項目」の情報を収集し、 ①血液培養で分離した菌種。 ②当院で胆道感染症に対して現在使用している抗菌薬の現状。 ②の選択薬が①に対して適正な抗菌薬か（感受性があるか、第一選択とされる抗菌薬か）を評価します。また、投与期間が適正か評価します。 ③処置や手術により抗菌薬投与の短縮がはかれているのか評価します。 なお公表する際には、個人を特定できる情報は削除します。
利用する試料・情報の項目	被験者背景：性別、年齢、入院中病名（胆管炎、胆嚢炎）、退院時転帰、基礎疾患として胆嚢癌・胆管癌・膵癌の有無、処置としてERCP* <sup>1</sup> ・PTCD* <sup>2</sup> ・PTGBD* <sup>3</sup> の有無、手術として胆嚢摘出術・肝切除術・膵切除術の有無、抗菌薬の有無・種類・投与期間、血液培養採取の有無と結果、血液培養採取の有無と結果 等 *1ERCP：内視鏡的逆行胆管膵管造影、*2PTCD：経皮経肝胆道ドレナージ、*3PTGBD：経皮経肝胆嚢ドレナージ
試料・情報の他機関への提供有無	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外） 提供方法： <input checked="" type="checkbox"/> なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 中村 嗣  共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし  試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし

本研究に関する当 院の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院 感染症科 中村 嗣 電話：0853-22-5111（代表）  事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL： <a href="https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy">https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy</a>
結果の公表	2025年11月頃に日本感染症学会で公表予定です。
備考	